



2024年6月

新着図書のご案内

姫路市立城郭研究室



「国指定史跡紀伊新宮城
続日本 100 名城改訂版5」

水島大二/監
小淵伸二

「江戸城の土木工事」

後藤宏樹
吉川弘文館



「「駿府城」まるわかり（改訂版）」

静岡市

「史跡郡山城跡豪雨災害復旧事業報告」

大和郡山市

「史跡旧二条離宮（二条城）」

京都市埋蔵文化財研究所

「富ノ森城跡」

京都市埋蔵文化財研究所

「大坂加番記録（七）」

大阪城天守閣



「大阪城天守閣紀要 第48号」

大阪城天守閣

「東北中世の城」

竹井英文・斎藤慎一・中井均/編
高志書院

「竹田城跡（2）」

朝来市教育委員会

「第19回全国城跡等石垣整備調査研究会
記録集」

姫路市立城郭研究室

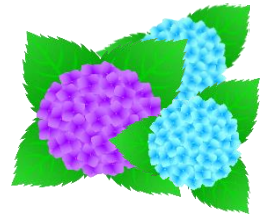
「歴群図解マスター 城」

香川元太郎
学研パブリッシング

「決定版日本の名城3～10」

大坂城・安土城・松本城・彦根城・熊本城・名古屋城・松江城・会津若松城
日本城郭協会/監
ディアゴスティーニ

今月のおすすめ本紹介！！



三浦正幸「図説近世城郭の普請 石垣編」 原書房

城郭を見学する際、皆さんのお目当ては建築物だと思います。ですが、城普請は、堀や石垣を設ける土木工事、「普請」が7～8割で、建物を建てる「作事」は脇役にすぎませんでした。では城普請の大部分を占める土木工事はどのようなものだったのでしょうか？その疑問について、石垣を図版入りで解説してくれるのがこの図説です。この本を読めば石垣の積み方にいろいろな種類があること、石の色や質感が違ふこと、石垣の裏側にたくさん石が込められていることなどが一目でわかりますし、土木工事に時間がかかる理由も見えて取れます。なお本書は、天守編、櫓・城門編に続く図説城郭シリーズの3冊目になりますので、合わせて一読いただけるとお城にもっと詳しくなれますよ。

後藤宏樹「江戸城の土木工事」 吉川弘文館

近世最大の城郭といえば、江戸城。天守こそ焼失してしまいましたが、残された絵図などから、そのスケールの大きさは推して知ることができます。本書はその江戸城が城下を含めどのように作られたのか、建造物ではなく土木工事の側面から迫るものです。私たちはついつい天守などの建築物に目が行きがちですが、城普請のメインは、やっぱり土木工事。前掲『近世城郭の普請 石垣』と合わせて読んで、江戸時代の土木技術に思いを馳せてみてはいかがでしょうか？

ちなみに私にとっての江戸時代一の土木工事は、現在の東京湾に流れ込んでいた利根川を、千葉の銚子を河口とする河川にしてしまった利根川東遷事業です（興味のある方は調べてみてください。スケールの大きさにびっくりすると思います）。

- ※ 上記の図書は、日本城郭研究センター2階 城郭資料特別閲覧室にて閲覧していただけます。
- ※ 貸し出しはしていません。
- ※ 開室時間は、月曜日から金曜日 9：00～12：00 13：00～17：00
- ※ 土、日曜日・休日・年末年始は閉室しています。
- ※ 上記の図書以外にも姫路城や姫路の歴史に関する蔵書など貴重な書物がたくさん収蔵していますので、興味のある方は、是非お越しください。
- ※ 城郭研究室への問い合わせ先及びホームページは、下記のとおり。



姫路市立城郭研究室（日本城郭研究センター2階）

TEL 079 (289) 4877

URL <http://www.city.himeji.lg.jp/jyokakuken>